

令和元年度 上田市立第四中学校グランドデザイン

上田市教育支援プラン

- ①学ぶ意欲を育む授業
- ②きめ細やかな個に応じた指導
- ③安全・安心な学校づくり
- ④地域に信頼され、地域に開かれた学校づくり

願う生徒の姿

学校長の願い

「一人一人に光の当たる教育を」

- ①相手の立場に立ち、よりよい人間関係をつくろうと努める生徒
- ②自分の考えをもち、友と関わって学び、ふり返って確かめる生徒
- ③卑怯な真似はしない生徒

よりよく生きたいという願いや生き方を求めて実践する生徒

本年度の重点1

生徒が動く授業【知】

- ①生徒が活動する授業
- ②考え発表する授業
- ③生徒と教師で創る授業

生徒が相手の言葉に耳を傾け、
自分の心を見つめる活動

- ①価値の自覚を深め道徳的実践力を養う道徳の時間
- ②人間としての生き方についての自覚を深め、
自己を活かす能力を養う特別活動
・学級活動 ・生徒会活動 ・学校行事

豊かさ（豊かに学ぶ）

優しさ（人とつながる）

逞しさ（やり遂げる）

- ・なぜ？どうして？疑問をもつ
- ・どう動くか考えて決める
- ・解決のために動く

- ・学校、学級の一員としての自覚をもって協力
- ・よりよい校風の確立と全校一丸の取り組み
- ・特別活動、生徒会活動での人間関係拡大

生徒が自ら考えて動く

○「四中生 学びスタイル」の日常化

○ニーズにそった学習形態の工夫

グループ学習 ペア学習 コース別学習
実験・演習 ジグソー活動 作業活動 等

本年度の重点2 届く挨拶【徳】

- ・まず授業の開始・終了の挨拶を全校で徹底
- ・相手の顔を見て自分から挨拶 ・挨拶をされたらきちんと返す

本年度の重点3 気づく清掃【体】

- ・まず時間いっぱい最後まで自分の役割分担を果たす
- ・一度終えたところも繰り返し磨きこむ ・師弟同業で取り組む

授業改善・評価・研修

①授業改善

- ・課題を明確にして疑問を持たせる
- ・教師の話を簡潔にして生徒の活動時間を確保
- ・ICTの有効活用 ・ふり返りの時間の確保

②生徒と教師が共に行う授業評価

- ・終末段階に授業者による評価
- ・授業者が（定期的）生徒の評価を集約し次の授業に活かす

③互いに授業を見合う研修(校内OJT)

- ・同教科・異教科 ・異学年 ・異校種

家庭・地域と連携

①「家庭学習の手引き」の活用 保護者との連携

家庭学習の充実化 家庭学習の方法を個別指導

②幼保小中高、他の専門機関と連携して支援

③学校関係者評価（生徒・保護者・評議員）

学校運営・教育課程の改善

④地域と関わる活動(信州型コミュニティスクールの充実)

- ・福祉活動 ・キャリア教育（職業体験 進路講話）
- ・上田千曲高校との交流学習 ・平和学習 ・防災教育
- ・城下あいさつ声かけ運動 ・四中バザー
- ・学習支援（国語、数学、校内中間教室支援など）

☆「教科質問の時間」の実施（定期テスト前）

☆学習オリエンテーション

☆学校での学びが生きる家庭学習

（授業で学習した内容とのつながり、復習、発展）

☆全校研究テーマ

☆総合的な学習の時間を使っての探究的な学習

☆教職員も生徒も共通認識した学習規律の定着

☆生活ノートに家庭学習の計画立案、自己チェック

*基本的な学習規律 *授業構想シート活用

「確かな学力を育む指導の工夫と改善」★「四中生学びスタイル」を窓口

将来生きて働く力に

【学校教育目標】

自己を見つめ 友と協力して 明るく逞しく生き抜く生徒